

\ ところをつなぐ情報誌 /

うきは

2021.6.1
No.376

掲載記事は5月19日時点で作成しています。
新型コロナウイルス感染症による影響で、掲載記事の変更やイベント等が中止・延期となる場合があります。詳しくは市ホームページ、各問い合わせ先で確認してください。

目 次

- 3 プレミアム商品券／よろず経営相談窓口／雇用維持・安定支援事業（相談会）
- 4 経営安定支援金／新型コロナ傷病手当金
- 5 住まいの終活相談会／耕作放棄地の再生活用
- 6 標準農作業賃金／建物相談／入札結果
- 7 講演会の中止／ゆるやか女性相談室だより／市民の外国語教室や国際交流の費用
- 8 防災だより・防災カフェ／無料職業紹介所／男性女性料理教室
- 9 会計年度任用職員募集／森林セラピー
- 10～11 くらしのカレンダー
- 12 うきはアリーナ各種教室募集／再生工房料理教室
- 13 「うきはのはなし」募集／人権Webセミナー／パソコンエクセル講座
- 14～15 令和2年度下半期の財政状況
- 16 図書館だより
- 17～19 広域情報
- 20 お誕生日おめでとう／まちの話題

今月の表紙



黄金色に色づいた麦畑

今年も麦がすすくと、まっすぐに穂をつけました。

道の駅うきはの展望デッキや、百年公園からは広大な麦畑を見ることができます。

皆さん、「麦踏み」という農作業をご存じでしょうか。秋播きの麦類の発芽した時期から早春にかけて数回にわたり、葉に土をかけ、踏みつけていく農作業です。この作業を行うことで、しっかりと大地に根をはり、太い茎をつくり、より強い麦に育っていくそうです。

私たち人類も、新型コロナウイルスという未知のウイルスに始まり、現在は、変異したウイルスに普通の日常を踏みつけられ、厳しい状況のなか生活を送る日々が続いています。しかし、一人一人が、基本的な感染予防策を実行することで、踏まれても負けずに成長する麦のように、私たちも成長し、以前の生活という穂を実らせることができるのではないのでしょうか。

また、市民の皆さまの行動で、新型コロナ感染症の発生から1年を過ぎてもなお、自らの感染リスクを顧みず、感染された方々の治療や看護等に懸命に奮闘されています医療従事者の方々やその家族の皆さまの負担を減らせるよう、ご協力をお願いいたします。